



平成 25 年度

# 国際交流報告書



## 平成25年度 年間行事

### 全キャンパス



月	日付	国	内容	ページ
4	4/26		交流協定の締結（韓国・培材大学校）	1
6	6/20~7/22		韓国・蔚山大学校日本語日本文化研修	2, 3
8	8/2~25		韓国・培材大学校サマースクールに参加	4
2	2/4		交流協定の締結（韓国・大邱韓医大学校）	4
	2/13		内閣府国際交流事業	5
3	3/1~3/10		本田雄一学長訪米	6
	2/23~3/1 3/9~3/14		海外企業研修	7

### 浜田キャンパス


月	日付	国	内容	ページ
5	5/2		極東ロシアの今を知る公開セミナーを開催	8
	5/23		タイから学生が来学	8
6	6/5		ミネソタ州立大学モアヘッド校から三田高敬先生が来学	9
7	7/5		復旦大学国際問題研究院合同国際シンポジウム	9
	7/24		アメリカ留学壮行会の開催	10
8	8/26~28		中国・寧夏大学から学生が来学	10
	8/1~8/30		異文化理解研修（ロシア・ウラジオストク）	11
	8/3~8/31		異文化理解研修（中国・北京）	11

月	日付	国	内容	ページ
8	8/4~9/2		異文化理解研修（アメリカ・モンレー）	12
	8/4~8/28		異文化理解研修（韓国・蔚山）	12
	8/25		ロシア極東連邦大学訪問（ロシア・ウラジオストク）	13
9	9/19		東北師範大学訪問（中国・長春）	13
10	10/30		太平洋諸国から学生が来学	14
11	11/14~15		島根国際学術シンポジウム 2013	15
12	12/18		第 13 回 国際文化交流のタベ	16,17
	12/19		イーストカロライナ大学交流シンポジウム	18
2	2/1~14	 	冬期日本語・日本文化研修 2014	19,20
	2/14		北京大学国際関係学院との合同国際シンポジウム	21
	2/4~3/21		異文化理解研修（アメリカ・ハワイ）	21

### 出雲キャンパス

月	日付	国	内容	ページ
8	8/20~8/31		異文化理解研修（アメリカ）	22
	8/20~8/25		異文化理解研修（韓国）	23

### 松江キャンパス

月	日付	国	内容	ページ
8	8/6~8/19		海外語学研修（アメリカ）	24



本学では、短期海外留学や留学、海外からの留学生の受け入れ、その留学生と本学学生との日常的な交流など、国際人としての素養を身につける幅広い取り組みを行っています。

交流協定

全キャンパス

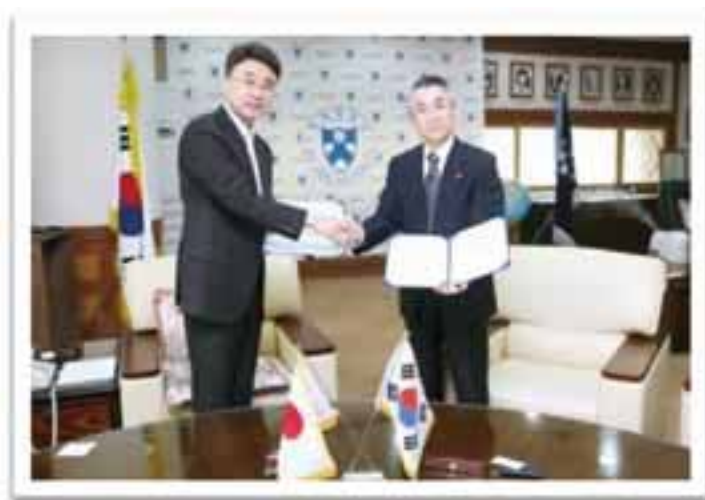
## 交流協定の締結（韓国・培材大学校）

平成25年4月26日に、韓国培材大学校と交流協定を締結しました。

大田（デジョン）広域市にある培材大学校は、1885年にアメリカ人宣教師アベンゼラーによって設立された私立の総合大学です。

1992年に設立された韓国語教育院があり、現在までに30カ国600人以上の韓国語・韓国文化を履修した留学生を輩出しています。

毎年7,8月には全世界から200名程度を受け入れるサマースクール(2~3週間)を開催しています。



## 韓国・蔚山大学校日本語日本文化研修

蔚山（ウルサン）大学校の学生 20 名が平成 25 年 6 月 20 日から 7 月 22 日までの約 1 カ月間本学に滞在しました。

	<p>【日本語授業】</p> <p>日本語授業では、日本の学生とお互いの文化を紹介したり、自分のことを話したりしながら、会話のロールプレイをしました。</p>
	<p>【日本文化授業（石見神楽）】</p> <p>西村社中代表 日高 均さんを講師として迎え、石見神楽について学びました。初めてみる道具や衣装に興味津々でした。</p>
	<p>【島根県東部視察研修（島根県立大学松江キャンパス）】</p> <p>松江キャンパスの授業に参加し、学生と一緒に松江市内を巡るウォーキングツアーを行いました。視察後は、振り返りを行い、グループごとに発表しました。</p>
	<p>【小学生との交流】</p> <p>浜田市立有福小学校の全校生徒 13 人と〇×ゲームをしたり、おにごっこをしたりして、たくさん遊びました。そのあとは、みんなで仲良く昼食を食べました。</p>
	<p>【韓国語教室訪問】</p> <p>浜田市内で韓国語を勉強されている市民の皆さんと、教室の方の手作りキムチやジュースをいただきながら、交流を深めました。</p>
	<p>【成果発表会】</p> <p>4チームに分かれ、日本の学生と一緒に1カ月にわたったフィールドワークや研究での成果を発表しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 私たちの考える6次産業のビジョン</li> <li>2. 韓国の地域資源の活用</li> <li>3. 自動車会社の環境への取り組み</li> <li>4. 現代チーム～現代自動車の社会貢献～</li> </ol>
	<p>【送別会】</p> <p>お世話になったホストファミリーや先生方、チューターなど多くの参加がありました。研修生からはお礼にダンスが披露され、特別ゲストとして本学マスコットキャラクター『オロリン』が登場し、更に盛り上がりました。出発の朝には、たくさんの先生・職員・ホストファミリーの見送りがありました。</p>

## 【日程】

6/20	本学到着
6/21	開講式、学長表敬、浜田市長表敬
6/24~27	日本語授業、サークル交流
6/28	津和野町視察
6/29,30	ホームステイ
7/1,2	日本語授業、日本文化授業（石見神楽）
7/4,5	日本語授業、小学校との交流（有福小学校）
7/10~12	島根県東部視察研修（島根県立大学松江キャンパス）
7/13	大田市視察
7/16~18	日本語授業、韓国語教室訪問（浜田公民館）
7/19	成果発表会、閉講式、送別会
7/22	本学出発

## 【蔚山研修生からの感想】 ※研修生の言葉を原文に近い形で掲載しております。

◇いつも優しく、面倒を見て下さって、韓国に帰るまで元気でいられました。それに、私たちと一緒に勉強したり、遊んだりした友達にも心から感謝しています。もっと遊んで話して仲良くなりたかったです。今はとても寂しいです……。出来るなら留学したいです。

◇一ヶ月間、みなさん私たちに親切にしてくださって、本当にありがとうございました。皆さんの笑顔とここの夕日が忘れられそうにないです。韓国に帰っても思い出しようです。

◇研修が終わるのが信じられないほど、時間が過ぎるのを早く感じました。私は、島根県立大学で日本語に自信がつかえました。徹底して準備されている研修計画で一カ月を送ることができて、とても嬉しいです。

◇振り返れば心残りが無いわけではないけれど、毎日反省しながら自分なりに頑張ったと思います。分からなかったことが沢山分かり、さらに多くの課題を見つけることができました。これからの勉強の道標になると思います。日本や韓国のことについて深く考える機会になったし、人との交流という側面でも、自分にとってとても意味のある時間になりました。

私たちのために頑張って素敵な研修にしてくださった皆さんに、心から感謝します。色々お世話になりました。とても楽しくて有意義な一カ月をありがとうございました。

◇島根県立大学の配慮で無事に研修を終えました。このいい思い出は死ぬ時まで絶対に忘れないです。ありがとうございました。

## 韓国・培材大学校サマースクールに参加

平成 25 年 8 月 5 日から約 20 日間、培材大学校で実施する、世界各国の大学から約 200 名の学生が参加する大規模なサマースクールに参加しました。韓国語の勉強と韓国文化を体験します。本学からは、浜田キャンパス 2 名、松江キャンパスから 2 名の学生が参加しました。



▲チムジルバン(健康ランド)



▲韓国語授業



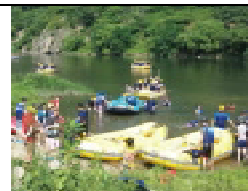
▲韓国伝統遊び体験



▲テコンドー



▲ロッテワールド



▲ラフティング

## 交流協定の締結（韓国・大邱韓医大学校）

平成 26 年 2 月 4 日に、韓国・大邱韓医大学校と交流協定を締結しました。

大邱韓医大学校は、大邱広域市壽城区（1 キャンパス）と慶尚北道慶山市（2 キャンパス）にキャンパスがある総合大学です。

8 月に実施した島根県立大学出雲キャンパスの異文化理解研修では、看護学科の学生との交流を行ったり、平成 26 年 2 月の冬期日本語・日本文化研修において 1 名の学生を本学で受け入れました。





## 内閣府青年国際交流事業

国際化の進む社会で活躍できる青年の育成を目指すため、日本と世界各国の青年の交流を通じて、相互理解を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を養う機会を提供する事業です。

事業内容には、国際青年育成交流、日本・韓国青年親善交流、東南アジア青年の船などがあります。

本学3キャンパスの学生が積極的に参加しています。

### 【報告会・説明会の様子】2/13



### 【壮行式の様子】8/20



### 【現地での様子】カンボジア：9/6～9/23、韓国：9/3～9/17





## 本田雄一学長訪米

平成 26 年 3 月 3 日から 3 月 10 日までの日程で本田学長がアメリカの Wenatchee Valley College (WVC)、Central Washington University (CWU)、University of Hawaii at Manoa (UHM) の 3 大学を訪問しました。

WVC (4 日訪問) ではジム・リチャードソン学長を始め大学幹部と面会し、学生派遣協定の締結を行い今後の交流事業について意見交換しました。

CWU (5 日訪問) ではマリリン・レビーン副学長やマイケル・ローナス国際センター長など国際交流を担当する大学幹部と面会し、交流事業に関する意見交換や本学の日本語・日本文化短期研修プログラムの紹介をしました。また、留学中の本学学生 4 名 (うち 1 名は松江 C 卒業生) と面会して留學生活の報告を受け、学長が激励の言葉をかけました。

UHM (7 日訪問) では、アンディ・サットン国際交流部長やジョエル・ウィーバーHELP※所長などと面会し、本学と UHM との交流に関する協議を進めていくことを確認しました。また、今年度から実施している UHM での異文化理解研修に参加中の学生 15 名とも面会し、研修の報告を受け、翌 8 日は学長と学生が交流する機会を持ちました。



▲WVC との協定調印の様子▲



▲CWU 大学幹部との面会



▲留学生との交流



▲UHM の国際交流担当者との協議



▲異文化理解研修中の学生との面会

※Hawaii English Language Programの略  
ハワイ大学への進学を目指すための英語を学ぶコース

## 海外企業研修

インド・韓国の企業や大学を訪問し、それぞれの国の経済状況を肌で感じ、学生との交流を通じて、自分の将来を考えるきっかけとしました。また、平成26年度に新設予定のタイの事前視察を行いました。

### 【インドコース】

期間 平成26年2月23日から3月1日

参加 学生15名、引率者5名

訪問先 5企業・4大学



### 【大韓民国コース】

期間 平成26年3月9日～3月14日

参加 学生5名、引率4名

訪問先 8企業、1大学



### 【タイ事前視察】

期間 平成26年3月4日～3月7日

訪問先 4企業



## 極東ロシアの今を知る公開セミナーを開催

平成 25 年 5 月 2 日に、浜田港ロシア貿易拡大プロジェクト実行委員会の招きにより、ロシア沿海地方議会議長 ヴィクトル・ゴルチャコフ氏が本学コンベンションホールで公開セミナーを行いました。



## タイから学生が来学

平成 25 年 5 月 23 日に、三重大学に留学中のタイ・タマサート大学の学生と、広島日本語学校で学んでいるタイの学生 14 名の訪問がありました。「実践中小企業・ベンチャー経営論」の授業を聴講したり、本学学生との交流を行いました。



## ミネソタ州立大学モアヘッド校から 三田高敬先生が来学

平成 25 年 6 月 5 日にミネソタ州立大学モアヘッド校言語文化学部長三田高敬先生が来学し、留学説明会を実施しました。8月からミネソタ州立大学モアヘッド校へ2名の本学学生が留学しています。



## 復旦大学国際問題研究院・島根県立大学 合同国際シンポジウム

平成 25 年 7 月 5 日（金）島根県立大学交流センター2階コンベンションホールにおいて、「北東アジアにおける中国の役割」「朝鮮半島をめぐる新たな動向」「北東アジアにおける経済協力」という3つのセッションを通して、島根県立大学と復旦大学国際関係学院が有する知識と知見を交換し、〈北東アジア協力の新課題〉にどう向き合っていくのかについて理解を深めました。

復旦大学国際問題研究院及び本学からそれぞれ3名の研究者が報告を行い、各セッション毎にコメンテーターとのディスカッションや質疑応答も行いました。

当日は、地域の皆様をはじめ本学の在学生・教職員など約200名が集い、熱心に聴講されました。





## アメリカ留学壮行会の開催

平成25年7月24日に、アメリカの協定校へ派遣留学する学生の壮行会を開催しました。壮行会では、学長から激励の言葉、海外留学奨学金授与、学生の決意表明がありました。今年度は、ミネソタ州立大学モアヘッド校へ2名、セントラルワシントン大学へ3名、計5名の学生を送り出しました。



▲壮行会の様子



←現地にて  
【ミネソタ州立大学モアヘッド校言語文化学部長の三田先生(中央)と一緒に】



←現地にて  
【留学生向けオリエンテーション】

## 中国・寧夏大学から学生が来学

平成25年8月26日～28日に、中国西北部に位置する寧夏回族自治区の寧夏大学外国語学院日本語学科から研修生10名と副院長が、日本寧夏友好交流協会の招きにより来学し、本学の学生と交流しました。



## 異文化理解研修（ロシア・ウラジオストク）

研修先：ロシア海洋国立大学

研修期間：平成 25 年 8 月 1 日（出発日）～8 月 31 日（帰国日）

参加学生：2名

研修内容：

- (1) 語学学習時間：4時間／1日（実用ロシア語（会話、文法、読解））
- (2) 地域文化学習：ロシアの文化（音楽、言語と文化、生活習慣等）、  
ロシア映画鑑賞、演劇鑑賞等
- (3) 現地見学・課外授業：ルスキー島（2012年 APEC 開催）、博物館見学等



## 異文化理解研修（中国・北京）

研修先：北京外国語大学

研修日程：平成 25 年 8 月 3 日（出発日）～8 月 31 日（帰国日）

参加学生：7名

研修内容：

- (1) 語学学習時間：4時間／1日
- (2) 地域文化学習：中国の歴史文化と現代社会に関すること
- (3) 現地見学・イベント：万里の長城、故宮、天壇講演、和園、京劇観劇など



## 異文化理解研修（アメリカ・モントレイ）

研修先：モントレイ国際大学

研修期間：平成 25 年 8 月 3 日（出発日）～9 月 2 日（帰国日）

参加学生：22 名

研修内容：

- (1) 語学学習時間：5 時間 / 1 日（4 週間）
- (2) 地域文化学習：アメリカ文化入門、時事問題、コミュニティ体験など
- (3) 現地見学・イベント：サンフランシスコ観光、ビーチパーティなど



## 異文化理解研修（韓国・蔚山）

研修先：蔚山大学校

研修期間：平成 25 年 8 月 4 日（出発日）～8 月 28 日（帰国日）

参加学生：24 名

研修内容：

- (1) 語学学習時間：6 時間 / 1 日（午前 9:00-12:00 / 午後 14:00-17:00）
- (2) 地域文化学習：韓国の文化（オンギ体験、韓国料理、テコンドーなど）
- (3) 現地見学・課外活動：蔚山見学、慶州見学
- (4) ソウルツアー：5 日間（独立記念館、DMZ ツアー、ロッテワールドなど）



## ロシア極東連邦大学を訪問

平成25年8月25日に、小林明子留学生センター長と事務局職員がロシア極東連邦大学を訪問しました。双方の大学の学生交流の発展をテーマに会談し、今後の学生交流プログラムについて、有意義な協議をすることができました。



## 東北師範大学訪問

平成25年9月19日に、NEARセンター研究員等9名が中国吉林省の東北師範大学東アジア文明研究センターを訪問し、学術交流に関する協定を締結しました。

東北師範大学東アジア文明研究センターの韓東育センター長と李曉東センター長による調印の後、両センターの研究員によるシンポジウムも開催されました。学術交流協定においては、両センター間の学術交流を一層強化するため、代表団の相互訪問等に積極的に取り組んでいくこととしています。





## 太平洋諸国から学生が来学

平成 25 年 10 月 30 日に、太平洋諸国（ミクロネシア連邦・フィジー共和国・マーシャル諸島共和国・パラオ共和国・ニウエ）の学生が公益社団法人 青年海外協力協会（JOCA）の招きにより来学しました。英語授業に参加したり、本学学生との交流を行いました。



▲学長表敬



▲キャンパスツアー



▲授業の参加



▲昼食交流会



▲石見神楽授業



▲学生交流



▲茶道体験



▲記念撮影

## 島根国際学術シンポジウム 2013

平成 25 年 11 月 14 日（木）～15 日（金）の 2 日間、島根県立大学講堂において「北東アジアの地域交流—古代から現代、そして未来へ—」と題して国際シンポジウムを開催致しました。国内外からお招きした 11 名の研究者及び本学教員 7 名による研究成果の報告やディスカッション等が活発に行われ、多彩な内容となりました。

シンポジウムには、地域の皆様をはじめ本学の在学生・教職員など 2 日間で延べ約 250 名が集い、熱心に聴講されました。



▲第1セッション：古代神話の世界と北東アジア交流



▲記念講演：宇野重昭 島根県立大学 名誉学長



▲第2セッション：鎖国時代の北東アジア交流



▲第3セッション：北東アジア接壤地域の歴史と現状



▲第4セッション：現代～未来のアジア太平洋交流



▲会場の様子

## 第 13 回 国際文化交流の夕べ

平成 25 年 12 月 18 日（水）に第 13 回国際文化交流の夕べを開催しました。今年、第 1 部のメインゲストに「地域の音楽家」を迎え、華やかなオペラの世界を中心としたステージを行いました。また、学生や留学生による歌・ダンス・ゲームなど、大学生と地域の皆さまとの交流を深めました。

当日は約 200 名の方にご来場いただき、大盛況となりました。

### 第 1 部前半—学生団体によるパフォーマンス



▲吹奏楽部



▲本田雄一学長 挨拶



▲中国語サークル好好



▲ダンス部



▲情熱人～ガチんちゅ



▲学生による司会

### 第 1 部後半—地域の音楽家による演奏



▲柿谷美雪さん



▲竹永久男さん（特別出演）



▲小林紘子さん



▲公演の様子

## イルミネーション点灯式



▲大学職員によるハンドベル演奏



▲みんなでカウントダウン

## 第2部



▲赤坂一念学部長 乾杯



▲YOSAKOI「橙蘭」



▲ジェスチャーゲーム



▲読み聞かせ「ゆるりの会」



▲留学生の歌



▲留学生のダンス

## 幹事長から一言

この度開催されました、第13回国際文化交流の夕べは、『咲かせよう文化の花、広めよう交流の種』をテーマに、学生・留学生・地域が一体となって当日を迎えました。

学生有志による幹事会メンバーは、当日に向けて夏から準備をして参りました。企画構成や出演団体とのやりとりなど、時間と作業に追われ辛い日々もありましたが、その分達成感も大きなものでした。

企画を進めていく上で最も難しい課題となったのは、今回のテーマでもある、外国文化をどのように伝え、どのように交流を深めていくかでしたが乗り越えることができたと思います。

また、全てを終えて振り返った感想や反省を来年に生かし、さらに皆様に喜ばれる会にして参りますので、第14回国際文化交流の夕べにもご期待ください！

最後になりましたが、ご来場・ご協力いただいた皆様に幹事会一同、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



▲第13回国際文化交流の夕べ幹事会メンバー

第13回国際文化交流の夕べ 幹事長 黒木大輔（2年）



## イーストカロライナ大学交流シンポジウム

平成 25 年 12 月 19 日に、島根県立大学・イーストカロライナ大学交流シンポジウムを開催しました。

このシンポジウムでは、平成 24 年に本学と交流協定を締結した米国・イーストカロライナ大学の協力を得て、最新のテクノロジーを使った異文化能力と外国語能力の育成の方法を提案しました。



▲ビデオ会議を使った国際協同授業のデモンストレーション



▲英単語学習法デモンストレーション



▲「アメリカ人学生から見た日本人イメージの変化」  
イーストカロライナ大学 ジェイミー・レボヴィッツ教授



▲「学生の学習動機を高める戦略」  
イーストカロライナ大学マリオン・エプラー教授



▲質疑応答



▲会場の様子

## 冬期日本語・日本文化研修 2014

平成 26 年 2 月 1 日から 2 月 14 日までの 2 週間、ロシア海洋国立大学（ウラジオストク市）、大邱韓医大学校、啓明大学校（韓国大邱広域市）から計 10 名の学生を受け入れ、「島根県立大学 冬期日本語・日本文化研修」を実施しました。

この研修は今年度から新たに実施した事業で、研修生が本学で日本語学習と日本文化の体験をしながら、本学と地域を知り、学生や地域の人たちとの交流を促進することを目的としています。

			
【開講式】	【寮生との交流】	【昼食交流会】	【学生交流】
			
【歓迎会】	【神楽鑑賞】	【日本語授業】	【茶道体験】
			
【石見神楽授業】	【広島視察】	【出雲視察】	【江津(風の国)視察】
			
【松江視察】	【しまね国際センターでの研修】	【しまね国際センターでの研修】	【しまね国際センターでの研修】
			
【美川小学校訪問】	【閉講式】	【和木公民館訪問】	【見送り】

## 【日程】

2/1	本学到着
2/2	学生交流
2/3	開講式、学長表敬、日本語授業
2/4~7	日本語授業、サークル交流、日本文化授業（石見神楽）
2/8	広島市視察
2/9	出雲市視察
2/10	松江市視察
2/11	日本語授業、料理交流会（しまね国際センター）
2/12	日本文化体験（しまね国際センター）
2/13	小学校訪問（美川小学校）
2/14	成果発表会、閉講式、送別会
2/15	本学出発

## 【研修生からの感想】 ※研修生の言葉を原文に近い形で掲載しております。

- ◇私はまた戻ってきたいが、時間がかかると思います。すべての人と多くの思い出を作ることができました。ありがとうございました。
- ◇我々のお世話をしてくださった先生と職員の皆さんに対して感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます！日本人の学生にもありがとうございます！私たちの日本語が不十分で、学生たちに迷惑をかけたと思います。忘れられない印象がたくさん残りました。  
あまりにも楽しくて、いい友達も出来て、別れるのはとても寂しかったです。ウラジオストク市にぜひお越しください！また会いましょう！
- ◇プログラムを主催した皆さん、日本語を教えてくださいました皆さん、家族のためお土産を選ぶのを手伝った皆さん、どうもありがとうございました。素晴らしいお世話と一人一人への注目、ありがとうございます。旅行、見学、絵と箸作り、お土産作り等の素晴らしいプログラムを作ってください、ありがとうございます！ロシアについて発表の機会をいただき、ありがとうございます！島根県立大学へもう一度行って、日本の文化を知り、日本語能力を磨きたいチャンスがあれば嬉しいです。
- ◇島根県立大学の先生、職員、学生に感謝の気持ちを表したいです。皆さんが理解深く、いつも我々の支援、お世話をしました。我々に関してもいい印象が残ったのだろうか。全てのことは気に入りました。島根県にもう一度行ってみたいと思いました。

## 北京大学との合同国際シンポジウム

『中国式発展の独自性と普遍性－「中国模式」の提起をめぐる－』

平成 26 年 2 月 14 日（金）、島根県立大学交流センター2 階コンベンションホールにおいて、本学と北京大学国際関係学院との合同国際シンポジウムを開催致しました。北京大学国際関係学院の研究者をはじめ、国内外の 9 名の研究者による講演・報告が行われました。また、各セッションではディスカッション・質疑応答が活発に行われました。

シンポジウムには、地域の皆様をはじめ本学の在学生・教職員など約 50 名の来場がありました。



▲第 1 セッション：  
中国における国家と市民社会



▲第 2 セッション：  
市民経済と格差



▲第 3 セッション：  
共振する中国と社会国家



## 異文化理解研修（アメリカ・ハワイ）

研 修 先：ハワイ大学

研修期間：平成 25 年 2 月 22 日（出発日）～3 月 23 日（帰国日）

参加人数：15 名

研修内容：

- (1) 語学学習時間：3 時間／1 日（実用英語：会話、文法、読解）
- (2) 地域文化学習：ハワイの文化（音楽、言語と文化、生活習慣等）
- (3) 現地見学・課外授業

見学予定先：Polynesian Cultural Center, Iolani Palace, Hawaii Plantation Village, Japanese Cultural Center, Pearl Harbor 等





## 異文化理解研修（アメリカ）

出雲キャンパスでは平成8年からアメリカワシントン州にあるウェナチー・バレー大学とシアトル大学での研修を実施しています。今年度は2年次生13名が平成25年8月20日から8月31日まで研修に参加し、アメリカの看護や文化を体験しました。

	<p>【ESL（英会話）授業風景】</p> <p>ESLではウェナチー・バレー大学専任教員による講義のほかに、ファーマーズマーケットでの英会話実践や、医療をテーマにした英語の寸劇を行い、語学力を身につけました。</p>
	<p>【ウェナチー・バレー大学、シアトル大学 看護学部見学】</p> <p>研修先のウェナチー・バレー大学とシアトル大学の看護学部を見学しました。実習室には成人から幼児のシミュレーションモデルがあり、汗をかいたり表情が変わるなど、出雲キャンパスに設置されているシミュレーションモデルよりも高性能であることに驚きました。</p>
	<p>【医療機関見学】</p> <p>総合病院や高齢者福祉施設、救急車運営会社など、様々な医療機関を見学しました。ウェナチー・バレー・メディカルセンターには通訳機能のついたベッドがあり、多民族国家アメリカを象徴していました。</p>
	<p>【看護学生との交流】</p> <p>ウェナチー・バレー大学の看護学生と交流昼食会を行い、日米の医療事情等について意見交換を行いました。アメリカの看護学生は社会経験を積んでから看護師を志す方が多いと聞き、看護学生のモチベーションの高さに学生たちも刺激を受けました。</p>
	<p>【ホームステイ】</p> <p>2泊3日でホームステイを行い、アメリカの人々の日常生活を体験しました。ホストファミリーと過ごした時間は学生にとって一生忘れられない思い出となり、帰国後もメール等で交流を続けています。</p>

## 異文化理解研修（韓国）

出雲キャンパスでは今年度より韓国での異文化理解研修が始まり、1年次生7名と2年次生5名が平成25年8月20日から8月25日まで、韓国大邱広域市にある啓明大学校と大邱韓医大学校での研修に参加しました。

	<p><b>【啓明大学校見学】</b></p> <p>研修先の啓明大学校を見学し、構内にある韓国の伝統的な建物や附属博物館等の施設を見学しました。国際交流ラウンジでは啓明大学の学生が留学生のサポートを行っている様子等を説明していただきました。</p>
	<p><b>【ドンサンメディカルセンター見学】</b></p> <p>啓明大学校附属病院（ドンサンメディカルセンター）を見学しました。皮膚科にはSPAが併設され、術後の皮膚のケアに韓方やホットストーン等を用いて自然治癒力を高めています。</p>
	<p><b>【大邱韓医大学校附属病院見学】</b></p> <p>鍼・灸を用いた治療の説明を受けた後、院内にある韓方薬の薬剤室や韓医体験センターを見学しました。韓医体験センターでは学生も鍼治療体験をさせていただきました。</p>
	<p><b>【看護学生との交流】</b></p> <p>啓明大学校と大邱韓医大学校の看護学生と交流し、互いの学生生活や文化について語り合いました。韓国では看護師の社会的地位が高く、両校には韓国全土から優秀な学生が集まるとあって、みなさんとても英語が堪能でした。</p>
	<p><b>【慶州観光】</b></p> <p>慶尚北道慶州市を訪れ、国立博物館や天馬塚、仏国寺などを見学し、新羅時代の歴史や文化を学びました。慶州は日本の京都・奈良のような歴史ある土地で、韓国の方々の心のふるさとです。</p>

### 参加学生の感想

・今回の研修での驚きは、1つに韓国の看護学生の知的水準や社会的地位の高さ、そして積極性でした。（中略）いずれの見学施設を訪れても、歓迎の横断幕やボードで私たち一行を出迎えてくださり、非常に友好的に接してくださいました。日本を発つ前にテレビやインターネットで流れていた竹島問題や反日といったニュースがまるで嘘のようでした。ただし、そうした一面もあることを忘れていないことが、より円滑にコミュニケーションを行う上で欠かせないと感じました。

～異文化理解研修（韓国）報告書より抜粋～

## 海外語学研修（サマープログラム）

松江キャンパスでは、ワシントン州立セントラルワシントン大学と協力協定を1990年6月に締結し、交流を進めています。海外語学研修（サマープログラム）は、夏休みを利用して約2週間CWUに滞在し、語学研修や見学旅行を実施するプログラムで、毎年多くの学生が参加しています。平成25年度は8月6日から19日の14日間実施されました。



【8月6日】シアトル到着後滝を見に



【8月6日】CWU到着、記念撮影



【8月8日】企業訪問



【8月9日】ヤキマ川下り



【8月11日】大リーグ観戦



【8月12日】学長主催のティーパーティー



【8月14日】BBQの様子



【8月15日】乗馬体験



【8月16日】お別れ夕食会

- ・今回の研修で、人と人との繋がりを感じたり、国境を越えて仲良くなれたりしたことは、とてもいい経験だった。この研修で学んだこと、感じたことをこれからの生活で活かしていきたい。
- ・これからも日本以外のたくさんの国に行ってみたくて思いました。まだまだ自分の目でさまざまな国を見たいです。
- ・研修を通して日本の素晴らしいところにも気づきました。いろんな国の文化を教えてもらうだけでなくこちらからも教えてあげられる人になりたいです。そのために日本のことについても勉強しようと思います。

～帰国後提出の報告書から抜粋～

---

島根県立大学・島根県立大学短期大学部  
平成 25 年度 国際交流報告書

平成 26 年 3 月発行

---

編集・発行  
島根県立大学 国際交流課

〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2  
TEL:0855-25-9063 FAX:0855-24-2208  
E-MAIL : kokusai@admin.u-shimane.ac.jp

---